

## 地域医療研修プログラム

<b>1. 病院名</b>			
天草郡市医師会立苓北医師会病院			
<b>2. プログラム責任者</b>			
プログラム責任者	職名	病院長	
	氏名	島田 政博	
所在地・連絡先	住所 〒 863-2507 熊本県天草郡苓北町富岡 3600-3 電話 0969-35-1133                      FAX 0969-35-1135 E-mail info@reihoku-med-ass-hosp.office.ne.jp		
連絡担当者氏名*・役職	事務長	横山 修	*プログラム責任者と別に連絡担当者がある場合のみ記載
連絡先	電話 0969-35-1133                      FAX 0969-35-1135 E-mail info@reihoku-med-ass-hosp.office.ne.jp		
<b>3. 研修期間</b>			
3か月又は6か月			
<b>4. 病院勤務医及び施設以外の指導医（主な指導医の氏名の前に「○」をつけてください） 主たる施設以外の指導医については氏名の下に施設名を記載してください</b>			
氏名	卒業年	専門分野・資格	専門分野・資格
島田 政博	S55年	整形外科専門医 ----- 日本医師会認定産業医	
濱口 正道	H1年	小児科専門医 ----- 救急専門医	
一丸 孝之	H6年	外科専門医 -----	
井手 博一	H11年	内科一般 -----	
○鬼塚 尚子 他 長崎大学病院	H11年	眼科専門医 -----	
<b>5. 施設・診療科診療実績概要 主たる施設の実績を記入してください</b>			
病床数	50 床（内総合診療部門定床                      床）		
外来患者実績	初診 約 500 人/月	再診 約 3000 人/月	
入院患者実績	平均 約 45 人/月		
<b>6. 施設基準</b>			
地域医研修について次の要件を満たす場合は口を塗りつぶす（■）			
<ul style="list-style-type: none"> <li>■一般病床を有する（病院の規模は問わない）</li> <li>■救急医療を提供している</li> <li>■総合診療部門（総合内科，一般内科，総合診療科など）を有する</li> <li>■委員会や診療科横断的な会議が定期的に開催され活動している</li> </ul>			

7. 研修関連施設

主たる施設以外の研修先を記載してください

施設名		研修内容
	<input type="checkbox"/> 診療所 <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> 介護保険施設等	
	<input type="checkbox"/> 診療所 <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> 介護保険施設等	

8. プログラム基準

地域研修について次の要件を満たす場合は□を塗りつぶす (■)

- 基本的診療の向上
- プライマリ・ケアマインドの育成
- 保健・介護・福祉との連携
- 地域社会の診断
- 医療経済の視点

9. プログラムの内容

(別紙可)

別紙

10. 研修スケジュール

別紙

## 名称 苓北医師会病院地域医療研修プログラム (3ヶ月)

### I. はじめに

苓北医師会病院は、「地域に根ざした良質な医療・福祉・予防医療を提供し、地域住民の健康を守り、地域活性化の一助となる」を病院理念とし、地域に密着した医療を実施することを目指している。住民の皆さんの希望にできるだけ広く答えられるように救急医療を始め、また適切に高度な専門医療へつなげられるように医療連携も重視してきた。住み慣れた地域でできるだけ医療が受けられるように、リハビリテーションも実施している。

そうした幅広い医療に対応する医師を育てるためには、大学病院や中核病院での専門医の研修とは異なる研修が必要と考え、実際の地域医療に即したこの研修プログラムを作成した。

### II. 対象

医師臨床研修修了者

### III. 修了年限

3ヶ月

### IV. 研修のゴール

当プログラムを修了した医師は、地域の第一線医療機関における外来・入院診療ができる高い臨床能力を有し、介護保険サービスとの連携や保健事業の立案と実行などに参画できるなど他職種の人々との良好なコミュニケーションが取れるようになる。

### V. 研修目標

#### 1. 医療

- (1) 外来診療 初診外来・再診外来がひとりでできる。
- (2) 救急外来 ACLS、トリアージ、救急車での転院搬送ができる。
- (3) 入院診療 入院診療ができる。
- (4) 検査 頸部・乳腺・心・腹部超音波検査ができる。

#### 2. 保健

- (1) 予防接種 予防接種を実施し、副反応に対応できる。
- (2) 健診 成人保健の健診事業を理解し、健診後の精査ができる。
- (3) 学校医 児童の健診ができる。就学指導委員会において適切な指導ができる。
- (4) 保健事業の立案に参画することができる。

### 3. 福祉

- (1)生活保護、医療費の公的支援などにつき理解できる。
- (2)社会福祉協議会、ボランティアの活動を理解し、患者さんやご家族に紹介できる。

### 4. 介護

- (1)介護保険制度を理解し利用方法を指導できる。
- (2)主治医意見書・訪問看護指示書を書くことができる。
- (3)介護認定審査を理解し審査委員として参加できる実力を備える。
- (4)ケアマネージャーに連絡・指導することで患者さん・ご家族を支援できる。

### 5. 健康教育

- (1)健診の事後指導ができる。
- (2)健康教育を企画・実施できる。

### 6. 産業医活動ができる。

## VI. 資源

### 1. 指導者

研修責任者：病院長 島田 政博

(日本整形外科学会専門医、日本医師会認定産業医)

一丸 孝之(日本外科学会専門医)

濱口 正道(日本小児科学会専門医・救急専門医)

井手 博一(日本内科学会)

非常勤眼科(長崎大学眼科専門医)

その他の非常勤医 5名(週末の日当直業務)

事務次長：笹田富貴子(診療情報管理士、社会福祉士)

介護主任：林田廣美(看護師、介護支援専門員、社会福祉士)

### 2. 研修施設

天草郡市医師会立苓北医師会病院

## VII. 研修スケジュール

1. 週間 外来診療 週2回、産業医活動 月1回、  
腹部超音波検査 週3回  
病棟カンファランス 週2回  
当直 週1回  
日直 月1回

## 2. 日程 病棟：回診カンファランス

レントゲン読影会、超音波検査読影会、外来振り返り研修など

	月	火	水	木	金	土
午前	検査	外来	検査	外来	検査	当番医
午後	病棟回診	外来	検査	外来	検査	
その他	病棟カンファランス	産業医活動 (1回/月)		病棟カンファランス		
	当直					

## VIII. 評価と修了認定

ポートフォリオ、自己評価、研修責任者による面接、指導者全員からの評価をもとに研修管理委員会で修了を認定する。

## IX. このプログラムの特徴

医療・保健・福祉・介護の各分野にわたる研修ができる。

各種コメディカルとの連携により効率的な研修ができる。

内科、外科、整形外科、小児科、眼科の専門医による指導を受けることができる。

## 名称 苓北医師会病院地域医療研修プログラム（6ヶ月）

### I. はじめに

苓北医師会病院は、「地域に根ざした良質な医療・福祉・予防医療を提供し、地域住民の健康を守り、地域活性化の一助となる」を病院理念とし、地域に密着した医療を実施することを目指している。住民の皆さんの希望にできるだけ広く答えられるように救急医療を始め、また適切に高度な専門医療へつなげられるように医療連携も重視してきた。住み慣れた地域でできるだけ医療が受けられるように、リハビリテーションも実施している。

そうした幅広い医療に対応する医師を育てるためには、大学病院や中核病院での専門医の研修とは異なる研修が必要と考え、実際の地域医療に即したこの研修プログラムを作成した。

### II. 対象

医師臨床研修修了者

### III. 修了年限

6ヶ月間

### IV. 研修のゴール

当プログラムを修了した医師は、地域の第一線医療機関における外来・入院・訪問診療ができる高い臨床能力を有し、介護保険サービスとの連携や保健事業の立案と実行などに参画できるなど他職種の人々との良好なコミュニケーションが取れるようになる。

### V. 研修目標

#### 1. 医療

- (1) 外来診療 初診外来・再診外来がひとりでできる。
- (2) 救急外来 ACLS、トリアージ、救急車での転院搬送ができる。
- (3) 訪問診療 在宅診療、患者さんや家族への療養の指導、終末期の援助ができる。
- (4) 入院診療 入院診療ができる。
- (5) 検査 頸部・乳腺・心・腹部超音波検査、上下部消化管透視及び内視鏡検査ができる。

#### 2. 保健

- (1) 予防接種 予防接種を実施し、副反応に対応できる。
- (2) 健診 成人保健の健診事業を理解し、健診後の精査ができる。

(3)学校医 児童の健診ができる。就学指導委員会において適切な指導ができる。

(4)保健事業の立案に参画することができる。

### 3. 福祉

(1)生活保護、医療費の公的支援などにつき理解できる。

(2)社会福祉協議会、ボランティアの活動を理解し、患者さんやご家族に紹介できる。

### 4. 介護

(1)介護保険制度を理解し利用方法を指導できる。

(2)主治医意見書・訪問看護指示書を書くことができる。

(3)介護認定審査を理解し審査委員として参加できる実力を備える。

(4)ケアマネージャーに連絡・指導することで患者さん・ご家族を支援できる。

### 5. 健康教育

(1)健診の事後指導ができる。

(2)健康教育を企画・実施できる。

### 6. 産業医活動ができる。

## VI. 資源

### 1. 指導者

研修責任者：病院長 島田 政博

(日本整形外科学会専門医、日本医師会認定産業医)

一丸 孝之(日本外科学会専門医)

濱口 正道(日本小児科学会専門医・救急専門医)

井手 博一(日本内科学会)

非常勤眼科(長崎大学眼科専門医)

その他の非常勤医 5名(週末の日当直業務)

事務次長：笹田富貴子(診療情報管理士、社会福祉士)

介護主任：林田廣美(看護師、介護支援専門員、社会福祉士)

### 2. 研修施設

天草郡市医師会立苓北医師会病院

## VII. 研修スケジュール

1. 週間 外来診療 週2回、産業医活動 月1回、

上下部消化管検査 週2回、腹部超音波検査 週3回

病棟カンファランス 週2回

当直 週1回

日直 月1回

2. 日程 病棟：回診カンファランス

夕 レントゲン読影会、超音波検査読影会、外来振り返り研修など

	月	火	水	木	金	土
午前	検査	外来	検査	外来	検査	当番医
午後	病棟回診	外来	検査	外来	検査	
その他	病棟カンファランス	産業医活動 (1回/月)		病棟カンファランス		
	当直					

VIII. 評価と修了認定

ポートフォリオ、自己評価、研修責任者による面接、指導者全員からの評価をもとに研修管理委員会で修了を認定する。

IX. このプログラムの特徴

医療・保健・福祉・介護の各分野にわたる研修ができる。

各種コメディカルとの連携により効率的な研修ができる。

内科、外科、整形外科、小児科、眼科の専門医による指導を受けることができる。